

第5学年1組 総合的な学習の時間 学習指導案

平成29年9月19日（火）第3校

時

指導者 教諭 熊谷 信彦
主幹教諭 畠山 友一
養護教諭 鎌田 理佳
場 所 階上小学校体育館

1 単元名 階上防災復興マップづくり ～みんなへつなごう！ 安心・安全 自慢のまち～

2 題材名 自分が住む地域の防災マップを作ろう

3 単元の目標

- ・防災マップ作りを通して、自分の住むまちの災害による危険性を知り、被害を軽減しようとする意欲を高めるとともに、自分の住むまちの避難場所を確認し、災害時に自主的に避難できるようにする。

【問題を解決する力】

- ・自分の住むまちの災害による危険性を知り、被害を軽減しようとする意欲をもつことができる。

【主体的・創造的な学び方・態度】

- ・自分の住むまちの避難場所や安全な場所を確認し、災害時に自主的に避難することができる。

【自己の生き方を考える】

- ・自分の命は自分で守ることを理解することができる。

4 単元について

東日本大震災から6年が経過し、南海トラフ地震や首都直下地震を想定した全国の学校教育の現場における防災教育、安全教育の整備や重要性は増してきている。

階上地区は、震災時には学区のおよそ半分が津波によって被災し大きな被害を受けた。現在も地域の復興事業との関わりに応じて新たな道路が設置されたり、かさ上げ工事などによって避難経路が変更されたりしている。また学区内には新たな災害公営住宅の建設なども進み、児童の居住場所の変更や行政区の増減といった変化もあり、防災マニュアルや各訓練の内容なども新たな視点で毎年見直ししていく必要がある。

こうした現状から、地域の災害時における危険性や避難場所を確認し、命を大切に「より良い避難の判断をし、積極的に行動する態度」である「自助」を育むことが必要であり、この題材が設定されている。5年生の発達段階での防災や減災につながる気付きをタウンウォッチングの中で確認し、防災復興マップの形でまとめていく。地震や津波だけではなく、あらゆる災害の発生時にも知識と判断力をもって率先して避難できるように、地域の自治会長の方々や気仙沼市防災教育推進委員会の栗原誠氏（前NPO法人 Seeds Asia）などに助言をいただきながら作製していく中で、身近な場所

の危険性や安全な避難場所や避難経路について理解を深め目標に迫りたい。また、地域の一員であり、復興の担い手となる児童が、故郷に愛着をもち、希望や誇りをもって伝承していけるように「復興」や「地域の自慢できるもの」も防災復興マップに位置付け、捉えさせていく。防災復興マップのワークショップの際には、階上地区各自治会長の方々、防犯協会会長、公民館館長、防犯協会会長や気仙沼市危機管理課の小山隆晴氏などのご協力をいただき、「学校－地域－行政－NPO」と連携しながら授業を構成し、児童の自助の力を育めるようにする。

5 児童の実態（男15名 女19名 計34名）

- ・第4学年の総合的な学習の時間では、「地域を知ろうタウンウォッチング」でグループに分かれて町探検を行い、地域の特徴について学んでいる。その後の「災害の種類や仕組みを知ろう」の学習では、発達段階に応じた自然災害の仕組みや自助の大切さについて理解する中で、災害への備えの必要性などについて学習している。
- ・月2回の朝の防災タイムでは、みやぎ防災教育副読本「未来への絆」や「わたしたちの安全」を活用して、年間指導計画に基づいて内容に偏りがないように防災に関する学習を行っている。避難訓練などの体験的な学びと知識を深める学びとを関連させることで、日常的に防災意識を育めるように学校全体で取り組んでいる。
- ・本単元を学習するにあたり、夏期休業期間に自分の家の指定避難場所を調べ、そこまでの徒歩での移動時間や危険箇所調べなどの課題学習を行った。課題学習を通して、指定避難場所をはじめて理解した児童も数名おり、防災意識をさらに高める必要があると感じた。また、意識調査からは、「災害時の家の人との待ち合わせ場所が決まっていない」と回答した児童が約半数おり、学校管理下だけでなく家庭に一人である場合の避難などのあらゆる場面を想定した避難行動（自助）や家庭での約束の取り決めなどを促す必要がある。
- ・11月に地域の自治会で行われる階上地区総合防災訓練にはほとんどの児童が参加しており、その時に行われた消防団との消火体験活動や炊き出し体験、AED操作の体験などを通して、「やり方を理解できて良かった」「(災害時に)自分から何かできることをしたい」という思いやこうした体験活動が「共助」の意識を育むことにつながっている様子がうかがえた。
- ・東日本大震災によって、家屋が被災した児童や災害公営住宅から通学している児童も数名いる。家庭によって震災による影響の度合いも様々であることから、学習や生活場面で配慮を要することがある。学期や月ごとのアンケート調査をもとに、児童の様子を見取り早期対応できるように養護教諭やスクールカウンセラー、外部機関などと連携しながら児童への対応を行っている。

6 指導にあたって

以上のことを踏まえ、本題材では、以下のような手立てを講じて指導にあたっていく。

(1) 地域や行政、専門家と連携し、「自助」を意識した指導の工夫

- ・本単元に取り組んでいくにあたり、これまでも防災マップ作成や地域コミュニティの復興に多く携わってきた気仙沼市防災教育推進委員会の栗原誠氏を授業のアドバイザーに迎え、専門家の観点からアドバイスをいただきながら防災復興マップの作製を進める。また地域の住民の方々の意見を取り入れ、より実態に即した防災復興マップとなるように各地区の自治会長や階上公民館

長小野寺隆成氏，階上防犯協会会長小野寺正文氏などとの意見交流を行いながら，避難行動の際に活用できる防災復興マップとなるようにする。

- ・ 気仙沼市役所危機管理課小山隆晴氏を講師として，行政の視点から見た場合に防災復興マップの不足している情報や改善点についてアドバイスをいただく。東日本大震災やこれまでの様々な災害の経験を経て，階上地区の住民がどのような避難経路を通過してどの避難場所へ向かうことがより自分の命を守ることにつながるのか，情報を共有する。

(2) 体験—探究—発信—交流を取り入れた学習展開の工夫

- ・ 児童が得た知識や情報を地域の人々へ伝える場面を授業の中に設定する。児童が，自分が生活する地域のことを防災や減災，復興の視点で見直し，自治会長の方々に地域の現在の姿を教わりながらタウンウォッチングをすることで主体的な学びとなり，地域をさらに深く理解することにつながると言える。また，その後の防災復興マップづくりでは，相手意識をもち「誰が見ても分かりやすい防災復興マップ」を作ること意識させることで，知り得た情報を互いに精査してより分かりやすい表現になるように意見交換をしながら作製することで，対話的で深い学びとなるようにしていく。
- ・ 発表を通して修正した防災復興マップを11月に行われる階上地区総合防災訓練の際に各避難所に掲示させていただき，発表を行う予定である。自分たちが地域で学んだことを，今度は情報の伝える側になってフィードバックする体験をすることで，「自分も地域の一員である」という意識を育めるようにする。

(3) 新たな視点の提示と気づきの手立ての工夫

- ・ 階上地区各自治会長や階上防犯協会会長，気仙沼市役所危機管理課，気仙沼市防災教育推進委員会の栗原誠氏などから児童が気付かない視点へのアドバイスをいただくようにする。また，実際に作成した防災復興マップを使っての災害図上訓練を実施することで，マップの修正点や避難経路や避難場所などの共有化をはかり，みんなが活用できる防災復興マップを目指し，児童が理解した上で避難行動ができるようにしていく。

(4) 希望のもてる前向きな発信と継続性

- ・ 作成する防災マップは，「防災復興マップ」とし，防災に関する危険な情報だけでなく階上地区の「現在の復興状況」や児童の感性から「故郷の自慢」と考えるものもマップに位置付けていく。こうした活動を通して，児童が自分の郷土に愛着を感じ，地域復興に積極的に関わっていこうとする原動力となる「郷土愛」を育める学習となるようにする。
- ・ 単元の導入段階で，6年生が昨年度作製した防災復興マップの発表を聞くことで上学年からの思いやつながりを意識した学習となるようにする。また，作製では昨年度の防災復興マップと比較しながらまとめていくことで復興状況などの変化を確認するだけでなく，新たな気づきからマップを改良していくヒントが得られ，より実際に活用できる防災復興マップに繋がっていくものと考え

7 指導と評価の計画（10時間扱い 9/10）

時数	主な学習内容	評価規準 () 評価方法
1	○6年生から防災復興マップの発表を聞き、地域で起こる災害について考える。	・災害時の地域の様子について、防災復興マップから考えている。(発言・ワークシート)
2	○災害図上訓練で自分たちの住む地域の災害を想起させ、防災復興マップ作りの必要性を考える。	・自分たちの住む地域の特徴を考え、安全な避難場所を考えている。(発言・行動観察)
3	○昨年の防災マップや気仙沼市の防災マップなどを見て、今年の防災復興マップの観点を考える。 観点 <自助・共助>①危険箇所の確認 ②土地の高さの確認③工事中の場所の確認 <復興>①各地区の自慢できるもの ②新しくできたもの など	・前時の活動を生かし、防災復興マップをよりよいものにしようと考えている。 (発言・行動観察)
4 5	○地域に出て、各地区に住む自治会長の方々と防災の観点でタウンウォッチングを行う。 (ア) 危険箇所・工事中のもの：落ちてくるもの／倒れてくるもの／移動してくるもの／津波浸水地域／大雨時の危険な場所 等 (赤シール) (イ) 安全・災害のときなどに便利なもの：避難所 など (緑シール) (ウ) 新しくできたもの：災害公営住宅／道路 など (青シール) (エ) 地域の良いもの・自慢できるもの：いちご栽培施設 など (ピンクシール) (オ) 避難するときに声をかける：デイケア施設 など (黄シール)	・地域の特徴を知り、安全な避難方法を考えている。 (ワークシート・発言)
6 7	○地域ごとに、自分たちの住む地域の防災復興マップを作る。	・必要な情報を集めたことを整理して、防災復興マップにまとめている。(防災復興マップ)
8	○作った防災復興マップを見て、気付いたことや考えたことを交流し、発表の準備をする。	・災害時に起こる被害の予想しながら、避難時に気を付けることを考えている。 (発言・ワークシート)

9 本時	○地域の自治会長さんや気仙沼市役所の方々と共にワークショップを開いて意見をもらい、修正点を考える。	・災害時に起こる被害の予想しながら、避難時に気を付けることを考え、マップの修正点を見つけることができる。（発言・ワークシート）
10	○これまでの学習を踏まえて、自分たちの災害復興マップで災害図上訓練を行い防災復興マップの修正をする。	・情報を整理して、防災復興マップに付け加えたり修正したりしてまとめている。（防災復興マップ・ワークシート）

8 本時の指導（9／10）

（1）目標

○作成した防災復興マップについて、地域の方々や市役所の方々から話を聞いたり、話し合ったりすることを通して地区の防災復興マップの修正点や改善点に気付くことができる。

（2）目標達成に向けた主な手立て

- ①地域の特徴などをよく知る地域の方々（自治会長，防犯協会会長，公民館長，階上駐在所所長等）や市役所の方々（危機管理課，防犯教育推進委員会）に発表を聞いてもらうことで，防災復興マップを作製する上での相手意識の大切さに気付かせる。
- ②タウンウォッチングの際に同行して頂いた各地区の自治会長に地域の危険箇所などのリスクについてあらためて確認したりマップ作りの成果を認めてもらったりすることで，災害時の地域の避難場所や危険箇所についての理解を深め，自助の意識を育む。
- ③気仙沼市危機管理課の方に防災復興マップを見てもらい，行政の視点から児童の作製した防災復興マップを見た場合の成果や修正点，改善点についてアドバイスをもらうことで，防災復興マップの情報を整理して実際の避難行動の判断に役立つマップとなるようにさせる。
- ④防災復興マップの必要性や修正点をGT（ゲストティーチャー）から提示してもらい，次時の活動への見通しを持たせる。
- ⑤災害図上訓練を通して，防災復興マップづくりで知り得た地域の災害に関する情報を活用して，自分の避難経路や避難場所を考えることを通して理解を深める。

- （3）準備物 【教師】・付箋紙，階上地区津波避難計画・気仙沼市防災マップなど，
 【児童】・筆記用具，ワークシート，防災復興マップ

(4) 学習過程

段階	学習活動	・指導上の留意点, 主な支援	【評】評価規準 ○C児への支援
導入 3分	1 あいさつをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 地域の方や気仙沼市役所の方から アドバイスをもらい, 防災復興マ ヅップの修正点を見つけよう。 </div> 2 本時の課題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・来校された地域の自治会長さん方 や気仙沼市危機管理課, 防災教育 推進委員会栗原さんの紹介をし, あいさつをする。 ・ワークショップの留意点を確認し, 本時の見通しを持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内 容の見通しが 持てるよう に, 掲示物な どに注目させ 個別に声掛け をする。
展開 35分	3 ワークショップの準備をする。 ～移動・発表の準備～ 4 地区ごとにワークショップを行う。 【進め方】 ①児童から防災復興マップの発表をす る。(約5分) ②各地区の自治会長さんからのアドバ イスや修正するところの確認をする。 (15分) ・雨が降ると危険な場所が他にもある。 ・新しく工事している場所がある。等 ～移動・準備時間(5分)～ 5 防災と復興の視点から, 階上の町全 体について, 自分たちの調べたことを もとに意見を共有する。 (10分) ①階上の町全体を見ての特徴の確認を し, 補足をする。 ②防災(自助)の観点から気付いたこと	<ul style="list-style-type: none"> ・階上地区を大きく3つに分けたグ ループごとで行う。 1:北コース(最知) 2:山コース 3:海コース ・ワークショップがしやすいように, 場を設定する。 ・GT(ゲストティーチャー)の方々 からの, アドバイスを聞く視点を 明確にさせる。 ①良かったところ。 ②情報で付け加えるところ。 ③改善するところ。 ・GTの方に, 発表を聞いて修正点な どの気付きを付箋紙に記入しても らい, マップ上に貼り付けていた だく。<手立て①・②・④> ・栗原氏や危機管理課の方にも必要 に応じて, アドバイスをもらうよ うにする。 ・地図を繋ぎ合わせて階上全体の地 図にし, 地図を囲んで話せるよう にする。 ・話し合う視点を明確にする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>「災害発生時に, どこに逃げるの か。」「安全な場所はどこか。」「ど のような手順で避難するか。」など</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み中に調 査してきた身 近な防災, 避 難所調べなど やこれまでの 学習を想起さ せる。 <p>【評】発表や意 見交換を通し て, 防災復興 マップの修正 点に気付くこ とができた か。</p>

	<p>を話合う。</p> <p>③復興の観点から気付いたことを話し合う。</p> <p>※時間が無い場合は、②を重点に置いて交流させる。</p> <p>6 地区を指定し、実際に作成した防災復興マップを使って災害図上訓練を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・GTの方には、それぞれの立場からの意見をもらうようにする。 ＜手立て④＞ ・自分たちが作成した防災復興マップを活用することで、特徴を理解して修正点を実感できるようにする。 ・取り上げた地域で災害図上訓練をし、次時は他の地域でも行うことを伝える。 ＜手立て⑤＞ 	
終末7分	<p>7 気仙沼市危機管理課の方から、防災復興マップを見ての意見をもらう。</p> <p>8 学習の振り返りを行い、次時への見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気仙沼市の防災計画などの視点から見た場合のアドバイスなどをもたらえるようにする。 ＜手立て③④＞ 	

評価基準【評】A—防災復興マップの修正点に気づき、具体的な考えを持っている。

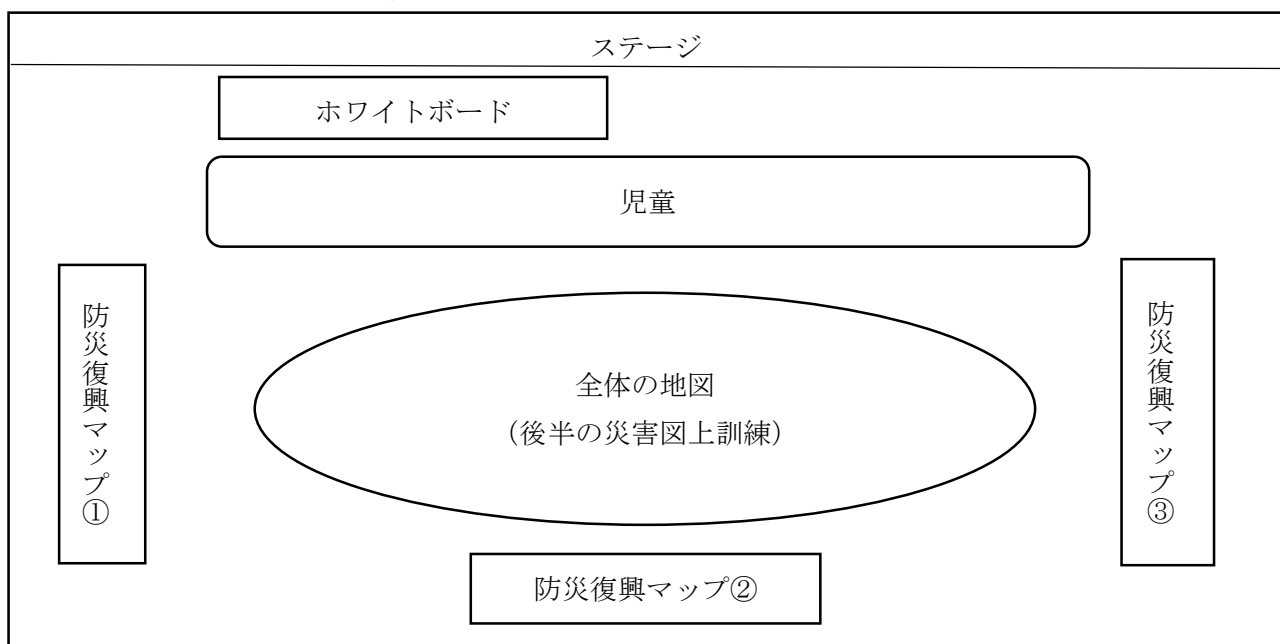
B—防災復興マップの修正点に気付いている。

(発言・ワークシート)

※C 評価はB評価を満たさないものとする

(5) 発表の場の計画 (体育館)

- ・発表の際は、それぞれのコースの防災復興マップの場所に移動して、同時進行で発表や意見交換を行う。
- ・後半の災害図上訓練では、防災復興マップを中央に集めてつなぎ合わせて大きなマップを作る。





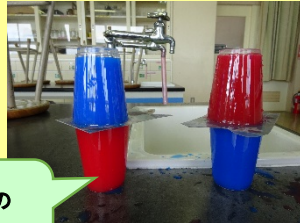
「豊かな海」について調べよう

(2学期～) 階上小学校 5年

☆「1学期の学習」や「海洋教育子どもサミット in ひろの」での発表を通して学んだことをもとに、課題を設定してさらに深めてきました。

海流・潮目・三陸沖漁場について知ろう

暖流・寒流の違いや宮城県沖がなぜ良い漁場なのかなどについて、対流実験などを通して考えました。



なぜ豊かな漁場なのか調べました。



岩井崎の化石について知ろう

岩井崎には「なぜ化石が多いのか」、「どんな時代の生物の化石が残っているのか」など、鹿折公民館長の豊田康裕先生から教えていただきました。1学期の生物調査で、岩井崎で化石を発見した際に疑問だったことを追求しました。



一番古いものは、2億6千万年前ということが分かりました！



海に漂う見えないゴミ「マイクロプラスチック」について知ろう (岩井崎の観察で見つけたゴミから・・・)

海にあったゴミが、環境へあたえる影響について追求しました。海と共に生きるために、どのようにしていけば良いかさらに考えていきます。



きれいな海を残していくためにできることを考えていきます。～持続可能な水産業～



個人研究レポートの作成

階上・気仙沼おすすめリーフレット

○個人研究で調べていることを、「階上・気仙沼おすすめリーフレット」や「個人レポート」にまとめて、今後交流している学校などに発信していく予定です。

自分の調べたいテーマを研究してまとめました！

東京海洋大学 海事普及会 船長体験教室

船舶の運航や仕事などについて学びました。手旗信号の体験をして、安全を守るためにさまざまな工夫があることを知りました。

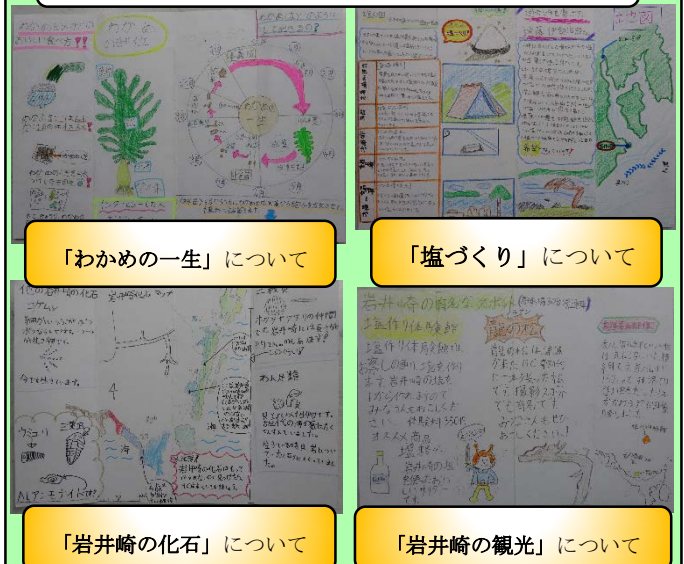


「わかめの一生」について

「塩づくり」について

「岩井崎の化石」について

「岩井崎の観光」について





「豊かな海, 気仙沼」～見つめよう,考えよう,気仙沼の水産業

気仙沼市立階上小学校

豊かな海について調べよう(4~12月)

- ①「豊かな海」って、どんな海なの？
 - ・「豊かな海」のイメージマップや、ペアやグループなどでの話し合いをもとに、気仙沼や階上の海について 調べたいことを話し合う。
- ②「豊かな海」について、調べよう
 - ・家族や海の仕事をしている人、商店や加工工場などで働いている人にインタビューをする。
 - ・夏休みを利用して、個人での調べ学習。
- ③「豊かな海」気仙沼、階上の海についてまとめよう
 - ・個人でレポートにまとめる。

課題設定(4~5月)

気仙沼の海を題材に、「気仙沼の海の豊かさを発信するために何を研究するか。」「頭だけでなく手や足を使って調べよう。(体験や取材活動を取り入れよう)」と、自分の課題を考えました。

海を知る

海を利用する

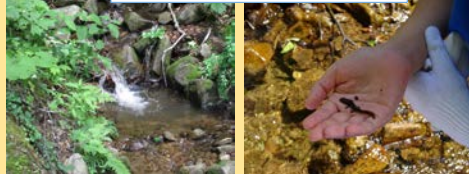
海を守る

森と海との関係について



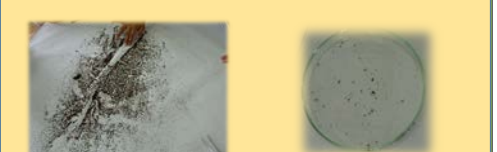
NPO法人「森は海の恋人」副理事長の畠山信さんにお出でいただき、お話をいただきました。畠山さんは、牡蠣やホタテの生産をしています。牡蠣やホタテが育つためには、食べ物になる豊富なプランクトンなどをふくんだ「栄養塩」が必要だと教えていただきました。そのために必要な要素の「フルボ酸鉄」は、海に流れてくる川をさかのぼって、森の腐葉土の中で作られていることを知りました。腐葉土に雨などがしみこんで、森の豊かな栄養分のふくまれた土を流れてくる水が川となって流れて、私たちの気仙沼湾まで流れてくることを知りました。そのために「海を守るために、森に木を植えていること」「海と森はつながっていること」を理解することができました。

「豊かな海」へとつながる、「豊かな森」のしくみについて



野外活動で、とりの岩手県一関市のけんこうの森でブナの原生林を散策しました。そこではたくさんの虫や魚、サンショウウオなどが自然の中で生き生きとしていました。こうした生き物のフンや死がいなどが森の土の中で分解されます。そして「フルボ酸鉄」がふくまれた水が川となって流れて海の栄養となり、ワカメなどの海藻類が育っていくことを、自分たちの目で見て体験することで知ることができました。

課題を「見つける」「見つめる」トピック授業「豊かな土壌」について



野外活動で見た「ブナの原生林の豊かな土には、どんな秘密があるのか」、山から持ってきた土と校庭の土とを比べて確かめることにしました。山から持ってきた栄養のふくまれる「豊かな土」には、落ち葉や虫の死がいなどがふくまれています。その土を観察すると、たくさんの小さな生き物(土壌生物)がいることを知りました。形も大きさもさまざまでした。森の中の落ち葉などをこうした土壌生物たちが食べてフンを出し、細かく分解していることを知りました。そしてこうした土壌生物が土にいることで栄養分が豊富な土となって川に流れることを知りました。反対に、校庭の土の中には、落ち葉や土壌生物もほとんどふくまれていませんでした。

震災後初めて

岩井崎の生物環境について



気仙沼水産試験場の齋藤さんをゲストティーチャーにお招きして、地元の岩井崎の潮だまりで生物観察を行いました。防潮堤の工事も進んで、漁港も姿を少しずつ変えています。震災以来なかなか実施できませんでしたが、今回震災後初めて生物調査を行いました。ヒトデやカニ、ウニにアマフランなど、1時間程でたくさんの生き物がいることを知りました。齋藤さんからは、「階上の豊かな海の恵みについて、学習を深めてください」とエールをもらいました。

これからは・・・

レポートの作成(12~1月)

海を知る 海を守る 海を利用する

個人研究のまとめレポートは、コンピュータ室の統合ソフトを使ってまとめています。平成26年度は、全員分を復興庁「新しい東北先導モデル事業「気仙沼の魚を給食の普及させる会」のホームページにアップしました。震災から交流している神戸や静岡などの学校の友達にも見てもらいました。1年間の個人研究を通して分かったことや自分の考えを、レポートの形で相手に分かりやすくまとめて、発信します。

階上の未来(1~3月)

- ①海のフォーラムを開こう
 - ・自分の提言をまとめる。
 - ・海のフォーラムを開催し、未来の気仙沼について討論する。
 - ・海のフォーラムを振り返る。

5・6年合同での「海のフォーラム」(3月)

海を利用する 海を守る 海を知る

3月には5、6年生が、これまでの学習でお世話になった方々を招いての学習発表会「海のフォーラム」を開催します。6年生は「スローフードを巡る旅」というテーマで、交流や特産品を使ったメニュー作りなどに取り組んだ成果を発表します。

ワカメ養殖体験(6~2月)

海を知る 海を利用する

種付け体験(6月)



階上地区漁協青年部千尋会の藤田さんや漁師の皆さんに教えてもらいました!

「めかぶ」から出されたワカメの胞子を型枠に巻いた糸に付ける作業を「種付け」と言います。この作業から、ワカメの養殖体験のスタートです。まずは、グループごとに、手作業で型枠に糸を巻き付けていきました。胞子が着くように、丁寧に作業をすることを学びました。種自体を購入して養殖に使う方法もありますが、「地種」と言われる地元産の種を使う方法で体験を行いました。次に、いよいよ種が入っている海水で作った型枠をひたします。これで種付けの完了です。顕微鏡でやっと思える胞子が、11月の

これからの体験の予定

- (6月) 種付け
- (11月) 種ばさみ
- (2月) 刈り取り
- 芯抜き
- 塩蔵処理
- 袋詰め
- (2~3月) 階上産ワカメのPR活動

「海とともに生きる」ための防災教育(8~9月)

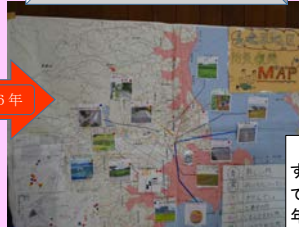
防災復興マップを作ろう!

海を知る

階上小学校区約半分が浸水!



震災から...6年



「自分たちの命を、自分たちで守るため」には、どのように行動すべきなのかを考えるために、防災復興マップ作りに取り組んでいます。自分の住んでいる地区ごとに、実際に歩いて作った6年生(昨年の5年生)が、ポイントを教えてくださいました。赤...危険な場所 青...復興が進んでいる場所 今年も、さらに復興が進んだ地域の様子を調べて、今の階上の姿から防災について学習していきます。

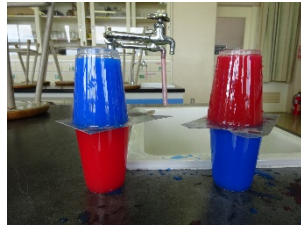
まだ津波の傷跡が残る・・・ 波路上漁港の様子

「豊かな海」について調べよう (2学期～) 階上小学校 5年

～「1学期の学習」や「海洋教育こどもサミット in ひろの」での発表を通して学んだことを深めてきました。～

海流・潮目・三陸沖漁場について知ろう

暖流・寒流の違いや宮城県沖がなぜ良い漁場なのかなどについて、対流実験などを通して考えました。



岩井崎の化石について知ろう

岩井崎には、なぜ化石が多いのか、どんな時代の生物の化石が残っているのかなど、鹿折公民館長の豊田康裕先生から教えていただきました。1学期の生物調査で、岩井崎で化石を発見した際に疑問だったことを追求しました。



海に漂う見えないゴミ「マイクロプラスチック」について知ろう

海にあったゴミが、環境へあたえる影響について追求しました。海と共に生きるために、どのようにしていけば良いかさらに考えていきます。



東京海洋大学 海事普及会 船長体験教室

船舶の運航や仕事などについて学びました。手旗信号の体験をして、安全を守るためにさまざまな工夫があることを知りました。



これからの学習では…

- 気仙沼がほこる遠洋マグロ漁について、「臼福本店」様にご協力をいただいて漁師の方からお話をうかがい、現状や海洋資源を守っていくために取り組んでいることなどを学んでいきます。
- 個人研究で調べていることを、「階上・気仙沼おすすめリーフレット」や「個人レポート」にまとめて、交流している学校などに発信していく予定です。

さざなみタイム

5年 組 番

6年生から、5年生で勉強したさざなみタイムについて発表を聞きます。どのような学習をするのかよく聞いて、メモをしてこれからの学習に生かしましょう。

① どのような学習をするのか

② 知りたいと思ったこと

③ ふしぎに思ったこと

☆ 感想をまとめましょう！

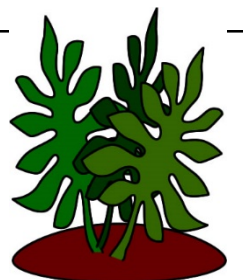
さざなみタイム 「□ かな□ とはどんなこと？」

5年 1組 番

- 1 「豊かな海」に、どんなイメージをもっていますか？ イメージマップ（連想メモ）に書いてみましょう。（例… プランクトン、養殖 など）

豊かな海

- 2 イメージマップから、どんなことに気づきましたか？ まとめてみましょう。
（出てきたキーワードなどから思ったこと、考えたこと…など）



- 3 「気仙沼」に、どんなイメージをもっていますか？ イメージマップ（連想メモ）に書いてみましょう。（例… 水産業、魚を使った料理 など）

気仙沼

- 4 イメージマップから、どんなことに気づきましたか？ まとめてみましょう。（出てきたキーワードなどから思ったこと、考えたこと…など）



- 1 階上の海では、どんなものが「養殖」されているでしょうか？知っているものを、書いてみましょう。

- 2 ワカメの養殖について、聞いてみたいことや不思議なことをメモしましょう。

- 3 「種ばさみ」について、作業などの分かったことをメモしましょう。

An illustration in the bottom right corner of the page shows a grey fish with a white belly swimming towards the left. To its right are two types of green seaweed: one with long, wavy blades and another with shorter, leafy blades.

4 ワカメの「養殖」について、分かったことをメモしましょう。



5 養殖に関わる方の思いや、これから調べてみたいことなどについて、まとめましょう。

○養殖に関わる方の思い

○これから調べたいこと



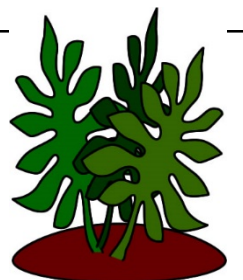
さざなみタイム 「□ かな□ とはどんなこと？」

5年 1組 番

- 1 「豊かな海」に、どんなイメージをもっていますか？ イメージマップ（連想メモ）に書いてみましょう。（例… プラクトン、養殖 など）

豊かな海

- 2 イメージマップから、どんなことに気づきましたか？ まとめてみましょう。
（出てきたキーワードなどから思ったこと、考えたこと…など）



- 3 「気仙沼」に、どんなイメージをもっていますか？ イメージマップ（連想メモ）に書いてみましょう。（例… 水産業、魚を使った料理 など）



- 4 イメージマップから、どんなことに気づきましたか？ まとめてみましょう。（出てきたキーワードなどから思ったこと、考えたこと…など）

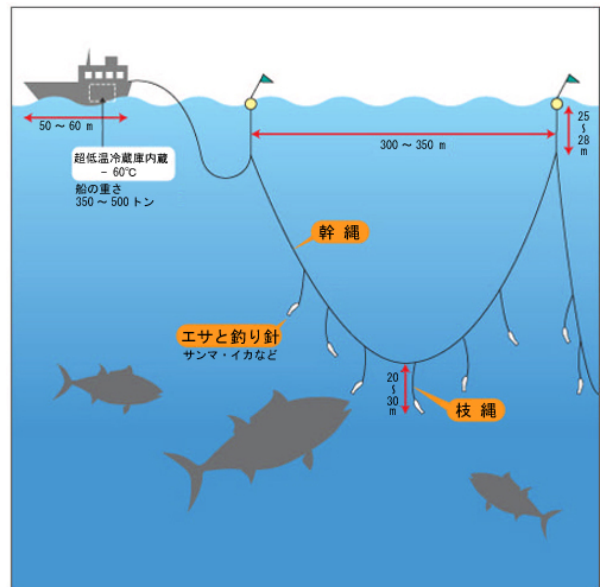


5年 1組 番

1 気仙沼の遠洋マグロ漁で、分かったことを書きましょう。



2 マグロ漁の漁師の方のお話から、分かったことを書きましょう。



3 臼福本店の小山さんのお話で、分かったことを書きましょう。

4 これからも「豊かな海」を守っていくためには、どうすればよいでしょうか。考えを書きましょう。



5 これからも「気仙沼の漁業」を守っていくためには、どのようにしていけばいいでしょうか。考えを書きましょう。



さざなみタイム

「□ かな □ についてまとめよう」～□□□□□□～

5年 1組 番

1 「かわむら気仙沼工場・加和喜フーズ本社工場（わかめ加工工場）」で質問したいことを書きましょう。



2 どんな商品がありましたか。



3 「かわむら気仙沼工場・加和喜フーズ本社工場」で分かったこと、作っている方の思いを書きましょう。

4 「ミヤカン (かんづめ工場)」で質問したいことを書きましょう。



5 どんな商品がありましたか。

6 「ミヤカン (かんづめ工場)」で分かったこと、作っている方の思いを書きましょう。

気仙沼・階上の「海のすばらしさ」「海のめぐみ」をどのようにして広げていきたいか、まとめましょう！

◎

さざなみタイム

「□ かな □ について □ べよう」 ~□□み□□□□ ~

5年 1組 番

1 調べるテーマ (例・・・ 岩井崎の観光と塩づくり体験について など)

2 なぜ、調べようと思いましたか？ 理由を書きましょう。(いくつでも！)

3 自分のテーマについて調べるために、「どこへ」「いつ」「どのようにして調べますか」？

① どこへ (例・・・海の市 など)

② いつ (例・・・8月5日)

③ どのようにして調べる (例・・・家の人と一緒に行って写真をとる。お客さんにインタビューをする。)

4 分かったことをメモしましょう。(例・・・「体験して感じたこと」「インタビューしたこと」など)

5 調べてみて「思ったこと」や「感じたこと」をまとめましょう。

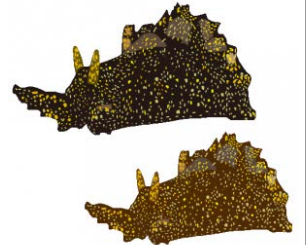
6 「疑問に思ったこと」や「これから調べていきたいこと」を書きましょう。

写真は大切にとっておきましょうね！どんどんメモして2学期にそなえましょう！



5年 1組 番

1 岩井崎でつかまえた生き物を書きましょう。また、どのようにしてつかまえましたか？（いくつでも）



2 水産試験場の齋藤さんから、どのようなことを教えてもらいましたか？



3 岩井崎の生物調査をしてみて、どのようなことを感じましたか？自分が見たり、感じたことをまとめてみましょう。



4 これから、自分たちの町の岩井崎の自然をどのようにしていけば守ることができるでしょうか？自分の考えをまとめてみましょう。

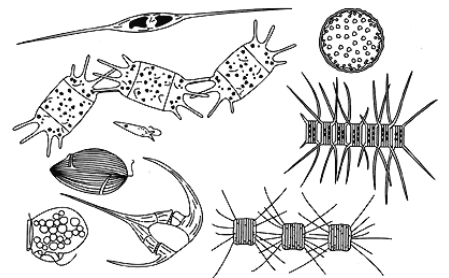


5年 1組 番

1 個人研究で調べたいことを書きましょう。



2 なぜ、そのことを調べたいと思いましたか？



3 調べるために、どこにインタビューをしたり、見学したりしたいですか？ (いくつでも)

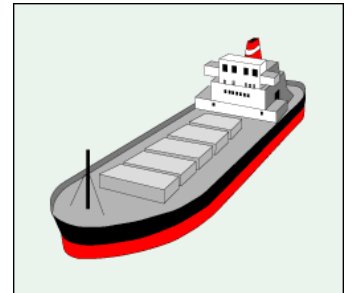


4 夏休みの間に、自分で調べてくること (取材してくること) を考えましょう。

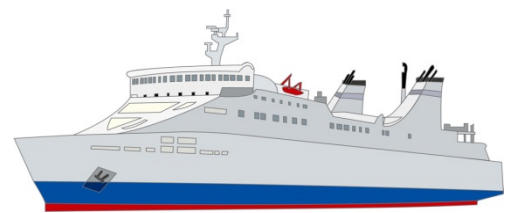


5年 1組 番

1 教えてもらったことをまとめましょう。



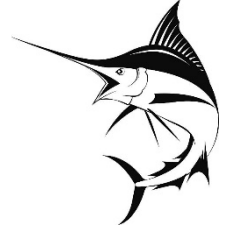
2 体験をしてみて、分かったことをまとめましょう。(手旗など)



☆船に乗っているいる方のことで、考えたことや分かったこと

5年 1組 番

- 1 気仙沼や階上の「三陸沖」は、なぜたくさん魚などの生き物がくらせる「豊かな海」なのでしょう
か？知っていることや考えを書きましょう。



- 2 実験で、水の流れはどのようになりましたか？気付いたことをまとめましょう。

- 3 潮の流れには、どんな種類がありますか？まとめましょう。

○親潮（_____海流）・・・

○黒潮（_____海流）・・・



- 4 リアス式海岸とは、どんな海岸でしょうか？

5 今日の海流の実験から、階上の海のどんな「ひみつ」が分かりましたか？また、これからどのようにして守っていきたいですか？自分の考えをまとめましょう。



<メモ>



さざなみタイム

□□さんに□えてもらおう

5年 1組 番

1 畠山さんに質問したいことを書きましょう。

2 畠山さんに教えてもらったことを、メモしましょう。



3 「森は海の恋人」の活動について、分かったことをまとめましょう。

A large empty rectangular box for writing the summary of the activity.

4 これから調べたいことをまとめましょう。



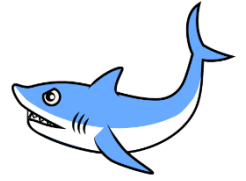
「豊かな海」についてまとめよう

①個人研究のテーマ（例・・・わかめの養殖について など）

5年1組 番

②夏休みに調べた場所，見学した場所を書きましょう。

③調べたり，見学したりして，分かったことをまとめましょう



④調べたことから，階上のおすすめリーフレットにまとめた，おすすめのポイントをかきましょう。



気仙沼市観光キャラクター
「海の子 ホヤぼーや」

「□□□□□ マップづくり ～みんなへつなごう! □□□□□ じまんのまち～」

5年 1組 番

1 自分の地区はどこですか？

2 自分の家からの避難場所はどこですか？また、歩くと何分くらいですか？

避難場所

時間

分

3 災害が起きたとき、家の人との待ち合わせ場所は決めていますか？ また、その待ち合わせ場所はどこですか？

(例・・・ 階上中学校 など)

決めている

決めていない

(どちらかに ○)

待ち合わせ場所 . . .

4 自分の家の周りがある、災害のときに命を守ってくれるものや施設しせつには、どんなものがありますか？

5 地域の防災の訓練に参加してやってみたこと、感想をまとめましょう。

①防災訓練でやってみたこと

②感想 (これから～していきたいこと など)

6 家の人と、防災のことで話し合って決めていることなどを書きましょう。

(例・・・ 地震がきたら、一人でいてもにげる など)



5年 1組 番

1 自分の地区

2 タウンウォッチングするコース

3 防災復興マップにのせるもの

(例 危険なもの・・・ 落ちてくるもの, たおれてくるもの, 移動してくるもの など)

①

②

③

④

4 今日の学習で分かったことをまとめましょう。



5年 1組 番

1 自分の地区

2 自分の家の指定されている避難場所はどこですか？（例…階上中学校 など）

3 自分の家から避難場所まで歩くと、どのくらい時間がかかりましたか？また、歩いてみた時の交通の様子や時間帯も書きましょう？（例…約7分。車が混んでいなかった。午後〇時ころ など）

4 自分の家から、階上小学校までは、歩くとどのくらい時間がかかりますか？

5 避難場所まで行くとちゅうで見つけた、「危険な場所」や「災害の時に危険なこと」を書きましよう。

6 「分かったこと」「感想」をまとめましよう。



5年 1組 番

1 自分の地区

2 自分の家の指定されている避難場所はどこですか？（例…階上中学校 など）

3 自分の家から、避難場所まで歩くとどのくらい時間がかかりますか？（例…約15分 など）

4 お家の方からの防災復興マップのアドバイスや良いところなどをメモしましょう。
（例…○○には、危険な場所があるので、△△に避難したほうが良い。 など）



「□□□□を□こう」



5 災害が起きたとき、お家の方と避難してから会う場所はどこですか？

6 お家の非常持ち出し袋には、何が入っていますか？

(用意していない場合は、どんなものが入っているとよいと思いますか。)

7 非常持ち出し袋に入れたい物を、書きましょう。

1 . . .

2 . . .

3 . . .

4 . . .

5 . . .

6 . . .

置き場所は . . . () ※家族みんながわかる場所など

チェックしましょう！

①食べ物や水、薬などが期限切れになっていませんか？

②季節（気温）によって必要なものはそろっていますか？

③電池を使う物は、すぐに使えますか？

(おまけに…あると安心するもの、リラックスできるものなどがあると良い
そうです。)